



## 安全祈願祭

刻々と月日、時がたち、震災から2年3カ月、高台移転のため自然の恵みの仮設住宅裏の樹々も伐採され造成されようとしています。山肌を露出している山なみ、震災の爪痕を複雑な思いで眺めています。斜面に残る青葉、

## みんなのスペース

皆さんから寄せられたお便りや作品を紹介します。「広報やまだ」の感想などもお寄せください。

小鳥のさえずりも、こ  
として消えるのかな、  
と思うと…。

去る5月29日午前10  
時から安全祈願祭が、  
業界の関係者の方々の  
参列のもとで地元の宮  
司さんの「のりと」で  
清められ厳かに行われ  
ました。

私たちも参列。いく  
ばくもない余生です。色々  
と難  
題がありと思いますが、早期  
安全着工を念願しております。  
菊地 サカエ（織笠・78歳）

## お盆と七夕（七カ日）

昭和の時代、その昔から月遅  
れのお盆、その前に七夕（七カ  
日）の節句があり、小豆バツト  
ウを食べた記憶がある。

ハツトウを7回食べて、水を  
7回泳ぐといったいわれから忙  
しく海と家を行ったり来たりし  
て食べては、泳いだ思い出はあ  
るが、どんな意味だったかは、  
判らずに…。

これは、春先から農作業など  
で、疲れた体力を補うための節  
句の一つだろう。やがて来るお  
盆までのスケジュールの中で、  
食糧事情の悪い時代といっても  
今の子どもたちには想像もつか  
ないほどの貧しいものでした。

鍋の中に米と雑穀が半々である  
のは、良い家庭のご飯。一般的  
には米が3割、雑穀3割、あと  
は海藻が入った「メノコ飯」で  
した。さすが昔の人も、このま  
までは体力がもたないと考え節  
句と表して、先祖に手向けるこ  
とにして、ハツトウを作つて腹  
いっぱい食べさせ、体力を補う  
のが、目的だったと思う。そし  
て、農業、漁業に精を出して自  
給自足の生活を立てたことが、  
容易に考えられる。

昭和初期から終戦後の苦しい  
時代を一生懸命生き抜いた、日  
本人の「なせばなる、なさねば  
ならぬ何事も」の精神と先祖を  
尊ぶ心、そして神を信じ神社を  
心の寄りどころとして、強い日  
本国民が育ったもので、今度の  
3・11にも決して負けないこと  
を信じ、応援してペンをおくこ  
とにする。

西館 隆（船越・80）

## 親子いろいろ

大浦小学校編集、親子読書感  
想文集。PTA準会員の我が家  
にもありがたくも届けて下さり、  
楽しく読ませてもらつておる文  
集「親子がに」であります。そ  
の文集を見る都度、遠くない昔  
の自分の行為を、面白おかしく  
思い出している。



1980年代のとある会合。

建築林や置物など広い用途で有  
名なる大谷石の採石現場の視察  
を終えて、事務所です。石につい  
ての説明があった。その中にあ  
る有名な「親子がえる」の石が  
あり、一連のカエルの効用も終  
わり、対応してくれたのは女性  
の職員さんだった。「親子がえ  
る」ってすごいもんだ！との声  
が四方から上る。でも俺はいつ  
ものいざずら半分の癖で手を上  
げた。

「会社の宣伝には「おやこがい  
る」と、平仮名で宣伝されてお  
り、今あなたは「親子がえる」  
と説明されましたが、あなたの  
説明は変な説明だと言う…」と  
言ったら「どうして？」と、女性  
職員さん。「俺平仮名で「おやこ  
がえる」でなく、「おやこがいる」  
と、最初からそう読んでいる」。

山崎 卓三（大浦・？）

## やまだ文芸広場

空梅雨に元気に咲いてる

あじさいの花

佐藤 兼男（荒川・86）

この世にて

仏の加護で生かされて

今生きているわれを喜べ

紫陽花の

藍あざやかに梅雨の

晴れ間に濃く薄く咲く

内館 洋一（飯岡・？）

福幸星

山田に福幸

福祉に福幸…

キラリ希望を信じて、

福幸星

佐藤 啓子（山田・？）

## 作品を募集中！

イラスト 写真 文芸 投書

◆投稿規定 ▶住所、氏名、年齢、電話  
番号を明記し、ペンネーム・匿名での  
掲載を希望する方はその旨を付け加  
えてください。

◆あて先・問い合わせ 〒028-1392（住  
所不要）山田町役場総務課情報係（内  
線417）へどうぞ。